

追憶の一九五八年

特集2 ◎ 碌山美術館誕生の軌跡



Special report

「この館は二十九万九千余人の力で生れたりき」。
碌山美術館本館の扉には、1958年という開館の年とともに、そう記されています。
日本近代彫刻の祖・荻原碌山（本名・守衛）を顕彰する碌山美術館は、4月22日に開館50周年を迎えます。
地方と都市圏の経済格差が現在よりも著しかった半世紀前、
信州の静かな田園地帯に、小さくも質実高い輝きを放つ美術館が産声を上げました。
日本の先駆的な存在となる個人美術館をこの地に誕生させた原動力は、
地域や立場を越え、官民が一体となって実現した「協働」の力でした。
モダンな雰囲気漂う信州・安曇野という文化ゾーン発展の金字塔となった
碌山美術館誕生の瞬間と、半世紀の歩みを探ります。

